

## SSNが沼田眞賞を受賞

(事務局)

小学校自然観察支援ネットワーク(SSN)の長年の取り組みが、「身近な自然の観察を学校教育の場で支援するネットワーク」活動として高く評価され、第13回沼田眞賞を受賞しました。去る1月25日、東京都江東区の清澄庭園大正記念館で授賞式と記念講演会がありました。一面のガラス戸の向こうに三菱創始者の岩崎弥太郎が築いた回遊式庭園のみどりが広がり、沼田眞賞にふさわしい会場でした。

授賞式では河添さんが日本自然保護協会 亀山理事長から賞状の授与と記念品が贈呈され、受賞記念講演は、佐口さんがSSN活動の基本的な理念やこれまでの経緯を、山田さんが千葉市立横戸小学校の事例を、松川さんが四街道における地域との連携事例を分担し、順次登壇して行いました。

同時受賞した表浜ネットワーク(ウミガメ産卵地の保全:愛知県)、水辺の里(中津干潟の保全:大分県)と専門的な記念講演が続きましたが、しんがりを務めたSSNの記念講演では、「授業内容をよく把握して先取りしないこと」、「少人数で班編成し、気づきや感動を共有するために手間と時間を惜しまないこと」、「誰でも同じように学校支援ができるようフォーマットを活用していること」などのSSNの取り組みやこだわりについて具体的な例を挙げながら説明し、高い評価を受けました。また、引き続き懇親会が和やかな雰囲気の中で行われ、ここでもSSNの取り組みについて「学校支援の事例は数多いが、システムにまで構築したところが素晴らしい」などの賛辞をいただきました。

この快挙はSSNの皆さんの長年の不断の努力の結果であることは言うまでもありませんが、会員一同この喜びを共有し、更なる活動への弾みにしたいと思います。

### [SSN関係者の一言コメント]

「立ち上げ当初、遠方からの支援を受けていた学校でも、現在は窓口担当者を中心に学校に近い地域の会員が熱心に活動してくださっていることに感謝しております。この活動を若い会員につなげていくように、私も微力ですが努めていきたいと思っています。」(河添さん)

「SSN支援体制の構築についての発表をしました。準備の段階で、発足前の話を伺ったり、古い写真を拝見したりしました。それらから大勢の指導員の熱い思いが今日の活動を支えていると実感しました。また、より良い観察会にするために今でも研鑽を重ねている真摯な姿勢とチームワークの良さも忘れてはならないものだと思います。」(佐口さん)

「横戸小の子どもたちは学校林が大好きです。もっともっと親しんで、楽しんでもらい、自然からいろいろの事を学び、その大切さを感じてもらいたい。他校に誇れる学校林を大切に、最高の環境を生かして子どもたちに喜んでもらう様ガンバります。」(山田さん)

「四街道はSSNには、その立ち上げ当初から講師の派遣や講習会の開催など、多方面にわたり大変お世話になってきました。今後も子ども達に、自然の素晴らしさ大切さを教えて行きたいと思いますのでよろしくご指導ください。」(松川さん)

「今後も勉強会などの企画を頑張ります。」(八木さん)



受賞と発表の皆さん